

令和5年度幼児教育研修会 講座一覧

回	日 程	研究主題	講 師	会 場	定 員	
1 ・ 2	6 月 28 日 (水)	10:00 ～ 12:00	【身近な環境とのかかわりに関する領域：環境】 子どもの好奇心に寄り添うための、 正しい虫の扱い方	県立人と自然博物館 主任研究員 八木 剛	県立こどもの館 多目的ホール	80
		内容	「むし大好き」な子どもたちは多いのに、「むし苦手」な先生が多いですね。いろんな虫のつかまえかた、さわやかた、育てかた、危険な虫への対処法等、実践演習いたします。苦手をちょっぴり克服し、日々の保育・教育にお役立てください。 【準備物】 野外で動きやすい服装。虫とり道具（なくてもよい）			
		13:00 ～ 15:00	【感性と表現に関する領域：表現】 楽しい打楽器 ～体も心もリズムにのって～	神戸マリンバソサエティ 小松 加奈		
内容	叩く・振る・擦るの単純な動作で音が出る打楽器。その親しみやすさから、子供達が自然にリズムを感じ・楽しみ、その感性を引き出す事が出来ます。様々な打楽器を身近に見て、体験して頂きながら、音楽あそびに繋がる方法等をご紹介します。 【準備物】 (楽器も含む)叩いて・擦って鳴るもの [無理のない範囲で]					
3 ・ 4	7 月 1 日 (土)	10:00 ～ 12:00	【人との関わりに関する領域：人間関係】 発達障害の子どもたちの困り感と 支援の実際 ～運動・動作の発達を促す遊び活動～	株式会社 アニメーション プレイジム 代表 太田 篤志	県立こどもの館 多目的ホール	80
		13:00 ～ 15:00				
5	7 月 24 日 (月)	10:00 ～ 12:00	【人との関わりに関する領域：人間関係】 発達障害を通じた世界の見え方を 理解する ～ニコニコ笑顔になる関わりのコツ～	結び手 代表 森山 和泉	兵庫県総務庁舎職員福利センター 大会議室	50
内容	ものごとのとらえ方や考え方が違うといわれている発達障害のある子どもたち。その違いを知るとは素晴らしい世界との出会いでもあります。「なるほど！そうだったのか」が増えると優しい関わりが広がります。具体的なエピソードを通して発達障害の理解を広げます。 【準備物】 筆記用具					

6	7月24日(月)	13:00 ～ 15:00	【言葉の獲得に関する領域：言葉】 絵本から広がる子どもの世界 ～絵本の読み聞かせからあそびを 通して育む表現力と創造力～	NPO 法人 アトリエ・ペタタ 理事長 石橋 幸子	兵庫県姫路総合庁舎職員福利センター 大会議室	50
		内容	子ども達に寄り添う絵本の選び方、読み聞かせのポイント、絵本の持つ本来の役割などをたくさんの絵本とともに学びます。また、『絵本の読み聞かせを通して育む表現力・創造力』として、様々な遊びを紹介するとともに、簡単な制作実習を行い体験的に学びます。 【準備物】筆記用具、はさみ、テープ			
7・8	8月23日(水)	10:00 ～ 12:00	【人との関わりに関する領域：人間関係】 日本で暮らす「外国につながる」子ども の支援～心理面を中心に～	関西福祉大学 社会福祉学部 講師 森 歩夢	兵庫県姫路総合庁舎職員福利センター 大会議室	50
		内容	近年、日本で暮らす「外国につながる」子どもの存在が注目されるようになりました。彼らは、容姿や名前などの違いから疎外感を感じやすく、進学や就労をふくめた生涯にわたる生きにくさを抱きやすいことが指摘されています。彼らの健やかな育ちについて、心理支援という視点から一緒に考えてみましょう。 【準備物】筆記用具			
		13:00 ～ 15:00	【人との関わりに関する領域：人間関係】 特性の違いを理解すればコミュニ ケーション力は向上する～脳科学から学ぶ～	一般社団法人 さんぴいす 代表理事 河口 紅	兵庫県姫路総合庁舎職員福利センター 大会議室	50
		内容	仕事などの対人関係を良好にするにはコミュニケーション能力が必要と言われていています。しかし実際にコミュニケーション能力を向上させるためにはどのように学べば良いかわからない方が多いのではないのでしょうか。本講座は最新の脳科学に基づき人の思考特性と行動特性の違いを理解することでコミュニケーション能力の向上を図ります。 ※研修会までに、事前アンケートを提出していただきます。 【準備物】筆記用具			
9・10	9月2日(土)	10:00 ～ 12:00	【心身の健康に関する領域：健康】 【身近な環境との関わりに関する領域：環境】 〈午前〉講義：子どもの意欲を高める 運動遊び～自己肯定感の育て方～	大阪青山大学 子ども教育学部子ども教育学科 教授 村田 トオル	県立こどもの館 多目的ホール	80
		13:00 ～ 15:00	〈午後〉実技：明日から使える子どもが 熱中する運動遊び作成のコツとヒント			
		内容	<p><午前>講義：運動遊びは体力向上だけでなく、心の成長にも大きく貢献します（特にコロナ禍においてこの点が着目されています）。体を動かすことにより、心が成長していく過程をわかりやく解説します。</p> <p><午後>実技：明日からの保育にすぐに取り入れられる運動遊びを実際に体験します。そして、同時に作成のコツを学びます。</p> <p>発育発達を考慮した運動遊び（ボール・かけっこ・サーキット）を保育者の関わり方の視点から解説を交えながら進めます。</p> <p>【準備物】筆記用具、運動できる服装（スカート不可）、室内シューズ ※更衣室有</p> <p>※1日受講となります。（半日受講不可）</p>			

※ 全回、令和5年度子育て支援者等研修講座と合同となります。